



社会医療法人財団 石心会  
**川崎幸病院**



**外科年報**  
2025





外科科長  
外科主任部長

網木 学

川崎幸病院 外科では、胃癌、大腸癌、膵臓癌、胆道癌、肝臓癌、食道癌、乳癌などの悪性腫瘍を中心に診療を行っています。また、胆石症、ヘルニア、虫垂炎、肥満症、逆流性食道炎などの良性疾患に対する手術治療にも積極的に取り組んでいます。外科で扱う対象疾患は多岐にわたるため、各臓器の専門医による診療体制を整えています。さらに、地域の腹部救急疾患に対して24時間365日対応できるよう、オンコール体制を整備しています。また、第二川崎幸クリニックでは外科、肛門大腸外来、食道外科、乳腺外来、肥満外来、化学療法外来を展開しております。

今後も皆様から信頼される病院をめざして、努力していく所存です。引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 消化器病センター 外科 診療基本方針

1. 消化器腫瘍・悪性腫瘍疾患に対する高度専門医療の提供
2. 消化器の急性期疾患に対する24時間の対応

## 外科診療の4本柱

食道部門

消化管部門

肝胆膵部門

乳腺外科

### 悪性腫瘍等

食道がん、胃がん、大腸がん、肝臓がん、膵臓がん、胆のうがん、乳がん、肺がん など

### 良性疾患

消化管良性腫瘍、痔疾患、胆嚢結石、鼠経ヘルニア、腹壁ヘルニア、高度肥満、気胸、肺嚢胞、縦隔腫瘍 など

### 急性疾患

急性腹症、胃十二指腸潰瘍穿孔、大腸穿孔、腸閉塞、虚血性腸炎、大腸憩室炎、急性胆嚢炎、ヘルニア嵌頓、気胸 など



## 食道部門

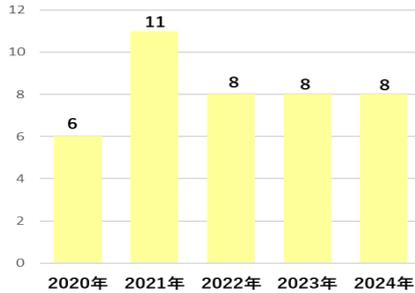


川崎幸病院副院長  
外科食道部門長  
がん治療センター長  
臨床研修センター長

日月(たちもり) 裕司

■ 専門  
食道外科  
(特に食道がん  
サルベージ手術)

食道がん、食道裂孔ヘルニア、食道穿孔、食道異物などを治療しています。食道癌には手術・抗がん剤・放射線治療・免疫療法による集学的治療を行います。手術は胸腔鏡を用いた低侵襲手術を行っています。手術を受けたくない方や手術が難しい方には化学放射線療法を行います。化学放射線療法後のサルベージ手術の経験も豊富で、他院治療後の遺残や再燃に対する治療の依頼にも対応可能です。日本食道学会の食道外科専門医が常勤し、食道外科専門医認定施設に指定されています。地域の中で専門病院と同レベルの診療を受けられる医療体制を提供しています。大動脈術後の食道穿孔などの難しい病態にも大動脈外科と協力して対応しています。



食道がん切除手術 年次推移

食道がん手術	6
大動脈瘤手術後食道穿孔の食道切除再建	2
食道憩室	1

2024年 手術内訳

## 消化管部門



外科消化管部門長

成田 和広

■ 専門  
消化器外科  
(特に大腸肛門外科)  
内視鏡外科および  
消化器内視鏡

消化管外科は、胃から大腸・肛門までの消化管を扱い、消化器外科の中で多くの疾患が対象となります。外来部門である第二川崎幸クリニックと連携し、死因第一位である悪性新生物の代表的疾患である大腸癌、胃癌を中心に、早期発見から手術、化学療法、放射線治療など集学的治療を行っており、地域のがん診療の拠点としての役割を担っています。上級医は内視鏡外科技術認定医を取得しており、緊急を含めた全手術の半数以上を腹腔鏡手術で行うなど低侵襲手術に努めています。直腸癌の側方郭清や経肛門的鏡視下手術、肛門機能温存術などの高度手術や、ICGによる血流評価にて吻合不全対策も行っています。消化管穿孔、ヘルニア嵌頓や腸閉塞などの急性腹症も24時間365日受け入れており、緊急手術は全体の約3割にも及んでいます。また、肛門疾患では内痔核に対する切らない治療(ALTA療法)を含めて対応しています。

消化管精査に関して内視鏡検査などもオープン検査で対応しており、急性腹症を含めた当科対応疾患も関しては迅速に対応いたしますのでいつでもご紹介いただければ幸いです。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



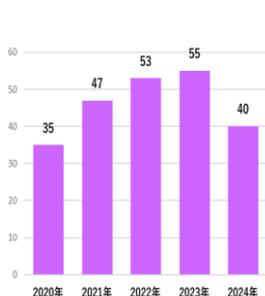
大腸がん手術 年次推移



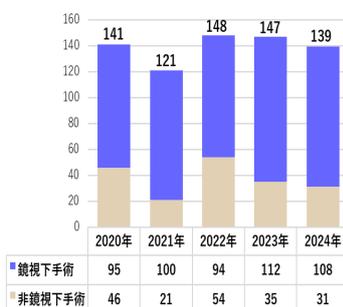
胃がん手術 年次推移



虫垂炎手術 年次推移



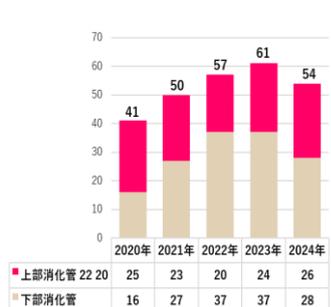
肛門手術 年次推移



ヘルニア手術 年次推移



胆石症手術 年次推移



消化管穿孔手術 年次推移

## 肝胆膵部門

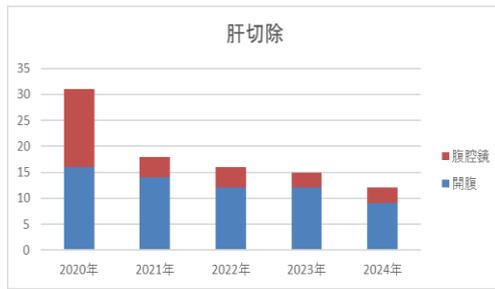


外科肝胆膵部門長

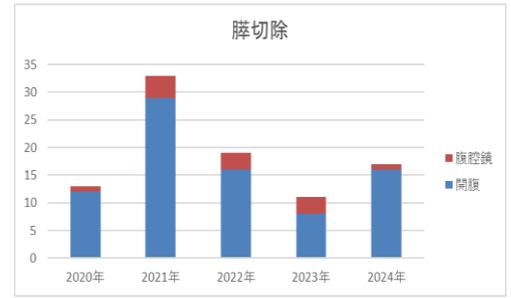
原 義明

■ 専門  
消化器外科  
肝胆膵外科  
内視鏡外科

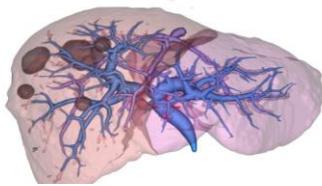
肝胆膵外科では、膵癌、肝癌などの進行癌症例が多く、またご高齢の患者様も多いですが、根治性と安全性の両立を第一として手術を行っています。肝切除では術前CT volumetry、3Dシミュレーションなどを用いて、より安全な手術を実施しています。膵癌に対しては原則術前化学療法を行った後に手術を行っています。症例に応じて、門脈などの血管合併切除も積極的に行い、癌遺残のないR0手術を実施しています。肝切除、膵切除ともに適応症例に対しては腹腔鏡手術も積極的に行っています。また、急性胆嚢炎に対しても早期手術を行っております。ご高齢の患者様も多いですが、患者様それぞれに応じた最適な治療を考慮して診療しています。いつでもご連絡、ご紹介いただけますと幸いです。



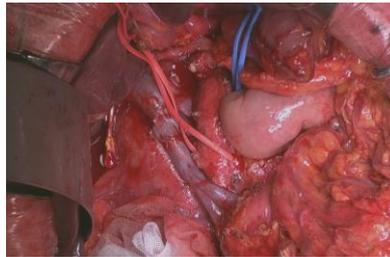
肝切除 年次推移



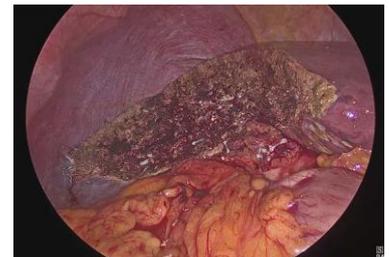
膵切除 年次推移



3D-CTシミュレーション画像  
(転移性肝腫瘍)



膵頭十二指腸切除、  
肝動脈・門脈合併切除再建  
(膵頭部癌)



腹腔鏡下肝S5切除(肝内胆管癌)

## 乳腺外科



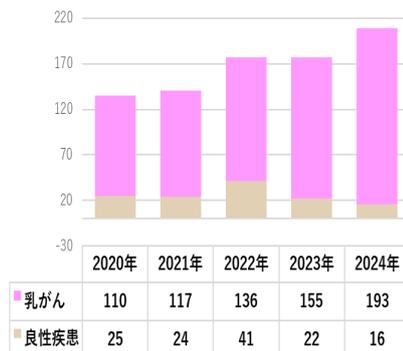
乳腺外科副部長

木村 芙英

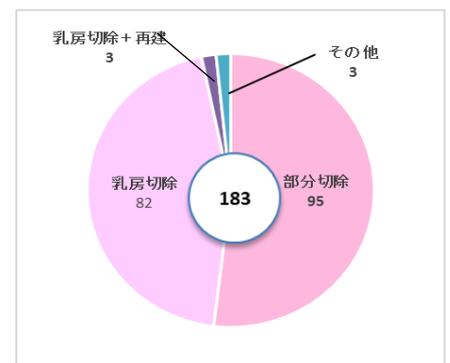
■ 専門  
乳癌の検診・診断・治療、  
乳房の良性病変に対する治療

ブレストセンターでは、乳癌検診、乳癌をはじめとする悪性腫瘍の診断・治療、遺伝相談や乳腺炎、葉状腫瘍などの良性疾患の診断・治療を専門的に行っています。一般的な乳癌手術についてはもとより、形成外科スタッフと連携した乳房再建(自家組織や人工物)を取り入れ、整容性の高い治療を行っています。また、乳房温存手術では術後放射線治療が必要となります。引き続き放射線治療科にてシームレスに治療を行うことができます。乳癌の薬物療法はホルモン療法、化学療法、分子標的治療や免疫チェックポイント阻害剤等、多岐に渡ります。また、新規薬剤の参入が多い領域でもあります。

乳腺を専門とする私達は日々情報を更新し、患者様一人一人のリスクと価値観に合わせた治療を行えるよう取り組んでおります。現在、常勤医師3名(いずれも乳腺専門医)と非常勤医師数名で診療にあたっています。今後ともスタッフ一同精進してまいりますので、よろしくお願いいたします。



乳腺手術 年次推移



2024年 手術件数内訳

## 減量外科のご紹介

海外では高度肥満症に対する外科手術が積極的に行われており、劇的な体重減少や、糖尿病や高血圧症などの改善が多数報告されています。日本では実施可能な施設は限られているのが現状です。当院では2019年より、腹腔鏡下スリーブ状胃切除術、2024年より腹腔鏡下スリーブバイパス術を導入致しました。腹腔鏡下スリーブ状胃切除術とは、胃を特殊な器具に沿わせて切離し、胃のサイズを100ml程度へ縮小させる術式です(図1)。また、腹腔鏡下スリーブバイパス術は十二指腸に小腸をバイパスすることで、より強力な体重減少や糖尿病改善効果を得る術式です。これまで、両術式ともに重篤な合併症は無く、腹腔鏡下スリーブ状胃切除術の術後1年の平均体重減少は約40kgと非常に良好でした。手術件数も年々増加しており、2024年は51症例で、神奈川県で第1位、全国で第4位の手術件数でした(図3)。術後は多職種での外来フォローを継続し、長期間に渡って体重減少が維持できるようサポートさせていただきます。なお、日本語以外での外来診療(英語、スペイン語、ポルトガル語)や、オンライン診療(日本語、英語)も行っておりますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

腹腔鏡下スリーブ状胃切除術

腹腔鏡下スリーブバイパス術



図1

腹腔鏡下スリーブ状胃切除術の手術成績  
2019年12月～2024年12月

2019年12月～2024年12月	手術症例 (200名)
平均体重 (kg)	117kg
平均手術時間 (分)	111分
術後在院日数 (日)	平均3日 (2-5日)
再手術	0
術後30日以内の再入院	0

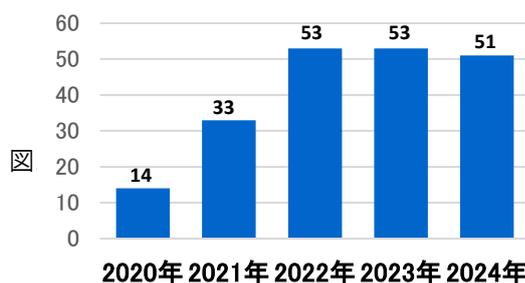


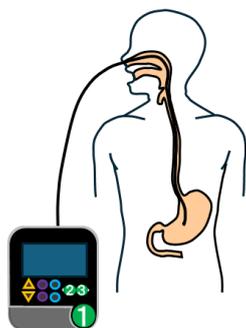
図3



治療に関する疑問点などについてはE-mailでも対応しておりますのでお気軽にご相談ください。  
E-mail: genryou@saiwaihp.org

## 食道pHモニタリング検査の導入

2024年より食道pHモニタリング検査を導入致しました。食道pHモニタリング検査とは胃食道逆流の程度を評価するための検査で、pHモニター装置(直径2mmほどの柔らかいチューブ)を鼻から入れて先端部を胃内に留置し、24時間のpHの変動を記録して胃食道逆流の有無、程度を評価します。逆流性食道炎に対する手術適応(腹腔鏡下噴門形成術)を決定するうえで非常に重要な検査であり、2泊3日の入院で行っております。



食道pHモニタリング検査





外科科長  
外科主任部長  
  
網木 学

■ 認定資格等

- ・ 麻酔科標榜医
- ・ 日本外科学会専門医・指導医
- ・ 日本内視鏡外科学会技術認定医・評議員
- ・ 日本消化器外科学会専門医・指導医
- ・ 検診マンモグラフィー読影認定医
- ・ 日本ヘルニア学会評議員
- ・ 厚生労働省指定オンライン診療研修終了



川崎幸病院副院長  
食道外科部長  
がん治療センター長  
臨床研修センター長

日月(たちもり) 裕司

■ 専門  
食道外科  
(特に食道がん手術)

■ 認定資格等

- ・ 日本外科学会専門医・指導医
- ・ 日本消化器外科学会専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医
- ・ 日本胸部外科学会指導医
- ・ 日本食道学会食道外科専門医・食道科認定医
- ・ 医学博士



外科消化管部門長  
  
成田 和広

■ 専門  
消化器外科(特に大腸肛門外科)  
内視鏡外科および消化器内視鏡

■ 認定資格等

- ・ 医学博士(甲)
- ・ 日本外科学会認定医・専門医・指導医
- ・ 日本消化器外科学会専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医
- ・ 日本大腸肛門病学会専門医・指導医
- ・ 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医
- ・ 日本消化器病学会専門医・指導医
- ・ 日本救急医学会救急科専門医
- ・ 日本腹部救急医学会腹部救急認定医・評議員
- ・ 日本内視鏡外科学会技術認定医(大腸)・評議員
- ・ 日本臨床外科学会評議員
- ・ 日本外科感染症学会評議員
- ・ 大腸癌研究会施設代表者
- ・ 大腸ステント安全手技研究会世話人
- ・ 神奈川ストーマ研究会世話人
- ・ 川崎市外科医会常任幹事
- ・ 厚生労働省認定臨床研修指導医
- ・ ICD(認定)
- ・ 身体障害者指定医
- ・ 内痔核治療法研究会四段階注射法講習会修了
- ・ TNTコース修了
- ・ 緩和ケア研修会修了
- ・ 仙骨神経刺激療法講習修了
- ・ 急性期病棟におけるリハビリテーション医師研修会修了



肝胆膵外科部長  
  
原 義明

■ 専門  
消化器外科  
肝胆膵外科  
内視鏡外科

■ 認定資格等

- ・ 日本外科学会認定医・専門医・指導医
- ・ 日本消化器外科学会専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医
- ・ 日本肝臓学会肝臓専門医
- ・ 日本内視鏡外科学会技術認定医(胆道)・評議員
- ・ 日本肝胆膵外科学会評議員
- ・ 日本腹部救急医学会腹部救急認定医・教育医・評議員
- ・ 厚生労働省認定臨床研修指導医
- ・ 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- ・ 日本移植学会移植認定医
- ・ 日本胆道学会指導医
- ・ 医学博士



外科医長  
末永 泰人

■ 専門  
大腸外科

■ 認定資格等

- 日本外科学会外科専門医
- 日本消化器外科学会消化器外科専門医

■ 略歴

2011年 名古屋市立大学医学部医学科卒業  
 2011年 市立四日市病院 初期研修医  
 2013年 市立四日市病院 外科  
 2018年 愛知県がんセンター 消化器外科  
 2021年 新松戸中央総合病院 外科  
 2023年 川崎幸病院 外科



外科医師  
望月 一太郎

■ 略歴

2015年 金沢大学医薬保健学域医学類卒業  
 2015年 金沢大学附属病院 初期臨床研修医  
 2020年 川崎幸病院 外科



外科医師  
結城 啓介

■ 略歴

2023年 川崎幸病院 外科



外科医師  
渡部 和玄

■ 略歴

2018年 東京大学医学部医学科卒業  
 2018年 東京都健康長寿医療センター 外科  
 2020年 静岡県立総合病院 消化器外科  
 2022年 東京大学医学部附属病院 外科  
 2023年 川崎幸病院 外科



外科医師  
小川 純平

■ 略歴

2024年 川崎幸病院 外科



外科顧問  
川崎幸病院副院長 兼 診療部長

後藤 学

■ 認定資格等

- 日本外科学会専門医
- 身体障害者指定医
- 厚生労働省認定臨床研修指導医

## 乳腺外科



乳腺外科部長  
プレストセンター長  
(第二川崎幸クリニック担当)

木村 芙英

■ 専門  
乳癌の検診・診断・治療、  
乳房の良性病変に対する治療

■ 認定資格等

- 日本外科学会専門医・指導医
- 日本乳癌学会専門医・指導医
- 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- マンモグラフィー読影認定医
- 日本超音波医学会超音波専門医
- 緩和ケア研修会修了
- 医学博士
- 東京医科大学病院乳腺科兼任講師

乳腺外科医長  
(第二川崎幸クリニック担当)

中村 幸子

■ 専門  
乳癌の検診・診断・治療、  
乳房の良性病変に対する治療

■ 認定資格等

- 日本外科学会専門医
- 日本乳癌学会専門医・指導医
- 臨床遺伝専門医
- 遺伝性腫瘍専門医
- 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- マンモグラフィー読影認定医
- 乳腺超音波読影認定医
- 緩和ケア研修会修了
- 医学博士



乳腺外科  
(第二川崎幸クリニック担当)

関 晶南

■ 専門  
乳癌の検診・診断・治療、  
乳房の良性病変に対する治療

■ 認定資格等

- 日本外科学会専門医
- 日本乳癌学会認定医
- マンモグラフィー読影認定医
- 乳腺超音波読影認定医
- 緩和ケア研修会修了



外科顧問  
川崎幸病院副院長 兼 診療部長

後藤 学

川崎幸病院診療部長の後藤です。

地域の皆様には当院に多大なるご厚情を賜り心より御礼申し上げます。

当院は心臓血管、脳血管および癌の治療を主体に手術、内視鏡、血管内治療、救急医療を積極的に実践している病院です。やや偏りのある診療科目構成の病院ではありますが、外科をはじめとして川崎幸病院診療部全科一丸となって、理念である「断らない医療」「地域に根ざした医療」「患者主体の医療」を心して日々精進しています。

地域の方々に信頼していただける病院となることはもちろん、やる気のある者がやりたい医療を実現できる病院、すべての職種が働きがいをもてる職場でありたいと思っています。今後も皆さまのご要望に対応できる身近な病院としてどうぞご活用いただければ幸いです。



外科顧問  
第二川崎幸クリニック院長

関川 浩司

本年に入り、コロナ禍は過去のものと思えられがちではございますが、依然として市中には一定数の罹患者が存在し、加えて秋以降はインフルエンザの流行も顕著となっております。さらには外科医師の不足が社会的な問題として取り上げられ、近い将来、手術を受けることが困難になる可能性も現実味を帯びてきております。学会からの提言に加え、厚生労働省もようやく対策に動き始めたところです。

こうした状況の中、当院外科では、ベテラン・中堅・若手の医師がバランスよく在籍し、365日24時間体制で診療にあたっております。外来部門である「第二川崎幸クリニック」と入院・手術部門である「川崎幸病院」が連携し、一体となって迅速かつ的確な医療提供を行っております。

先生方におかれましては、安心してご紹介いただける体制を整えておりますので、今後ともご支援・ご指導のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

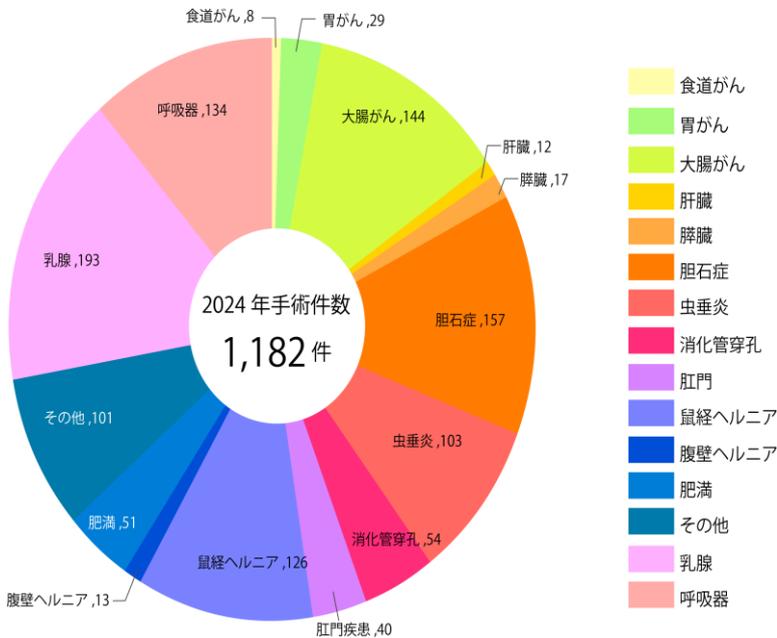


# 学会発表等 (2024年1月~12月)

【国際学会】				
発表者	期間	学会名	演題名	開催地
綱木 学	2024.3.9	The Fifth Symposium of TEAMS (Three East Asian Countries Metabolic Surgery)	Choice of revisional surgery of GERD after SG	中国
渡部 和玄	2024.11.21	SSN SAARC CON2024	Investigation of Laparoscopic Cholecystectomy Cases Following Endoscopic Gallbladder Stenting for Acute Cholecystitis	ネパール
渡部 和玄	2024.11.21	SSN SAARC CON2024	The hidden anatomy of extraperitoneal spaces	ネパール
渡部 和玄	2024.11.21	SSN SAARC CON2024	Widen the abdomen: CS and TAR(open)	ネパール
【全国学会】				
発表者	期間	学会名	演題名	開催地
小川 純平	2024.2.24	第158回神奈川県臨床外科学会医学集談会	直腸癌、腹膜播種再発に対する後方治療としてRegorafenibが著効し臨床CRが得られている1例	神奈川
伊藤 慎吾	2024.2.23	第21回日本臨床腫瘍学会学術集会	A Case of unresectable advanced gastric cancer resected by conversion surgery after chemotherapy with Nivolumab	名古屋
濱崎 空	2024.3.20	第60回日本腹部救急医学会総会	入院中に再発した胆石性膵炎に対して腹腔鏡補助下小腸切開切石術を施行した1例	福岡
渡部 和玄	2024.3.20	第60回日本腹部救急医学会総会	腹腔鏡下ハルトマン手術後の創離開に対してNPWTを施行し創閉鎖を成し得た1例	福岡
石山 泰寛	2024.3.20	第60回日本腹部救急医学会総会	司会：研修医・学生発表演題 12「小腸3」	福岡
成田 和広	2024.3.20	第60回日本腹部救急医学会総会	司会：研修医・学生発表演題 12「小腸3」	福岡
山元 崇輔	2024.3.20	第60回日本腹部救急医学会総会	単孔式腹腔鏡手術を施行した子宮広間膜裂孔ヘルニアの1例	福岡
原 義明	2024.3.20	第60回日本腹部救急医学会総会	司会：研修医・学生発表演題16「急性腹症2」	福岡
結城 啓介	2024.3.20	第60回日本腹部救急医学会総会	Meckel憩室のmesodiverticular vascular band(MVB)により絞扼性腸閉塞を生じた2例	福岡
伊藤 慎吾	2024.3.20	第60回日本腹部救急医学会総会	NDBオープンデータ解析による虫垂切除術の実態調査	福岡
伊藤 慎吾	2024.3.20	第60回日本腹部救急医学会総会	急性疾患由来短腸症候群患者の生命予後～レベスティブがもたらす臨床的意義について～	福岡
石山 泰寛	2024.4.18	第124回 日本外科学会総会	腹腔鏡下手術において病理学的なT4aとT4bでは術後成績に違いはあるのか？	愛知
伊藤 慎吾	2024.5.10	第110回日本消化器病学会総会	GLP-2アナログ製剤投与中の短腸症候群患者の腸内細菌叢の検討	徳島
伊藤 慎吾	2024.5.18	第9回日本がんサポーターケア学会学術集会	切除不能進行再発胃癌、大腸癌に対して在宅死を目指した多職種連携	埼玉
伊藤 慎吾	2024.5.24	第22回日本ヘルニア学会学術集会	TEP法におけるアクロサージの使用経験	新潟
木村 美英	2024.5.31	日本超音波医学会教育委員会主催：第23回教育セッション (乳腺・初級) 乳房解剖操作法		埼玉
木村 美英	2024.6.1	日本超音波医学会第97回学術集会	過診断と過小診断：治療方針選択にあたり画像診断で悩まれた症例	神奈川
伊藤 慎吾	2024.6.5	第49回日本外科系連合学会学術集会	切除不能進行再発胃癌、大腸癌に対し在宅死を取りを目指した多職種連携	東京
大倉 拓	2024.6.21	第46回日本癌局所療法研究会	巨大感染性胃GISTに対して内視鏡的ドレーナージ後に原発巣切除を施行した1例	滋賀
石山 泰寛	2024.6.22	第69回国際外科学会日本部総会	Single incision robot assisted surgery for resection of colon cancer using the da Vinci Xi system	東京
小川 純平	2024.6.22	第161回神奈川県臨床外科学会 医学集談会	高度肥満症の十二指腸潰瘍穿孔に対する手術手技の工夫	神奈川
伊藤 慎吾	2024.6.24	アミティエ ランチタイムセミナー	外科領域の便秘症に対する治療戦略～新ガイドラインを踏まえて～	全国配信
中村 幸子	2024.7.11	第32回日本乳癌学会学術総会	当クリニックで経験した男性乳癌症例におけるBRCA遺伝学的検査の考察	宮城
石山 泰寛	2024.7.12	第101回大腸癌研究会学術集会	腹腔鏡下手術に関する研究 機能性の副解析	愛知
伊藤 慎吾	2024.7.12	第101回大腸癌研究会学術集会	多職種連携による切除不能進行再発大腸癌治療の長期成績と看取り状況	愛知
高田 世恋	2024.7.17	第79回日本消化器外科学会総会	S状結腸憩室穿孔術後に人工肛門造設部を用いて単孔式腹腔鏡下人工肛門閉鎖術を施行した1例	山口
石山 泰寛	2024.7.17	第79回日本消化器外科学会総会	下部直腸癌に対する経肛門アプローチ併用のロボット支援下直腸切除術の手術手技と手術成績	山口
皆川 結明	2024.7.17	第79回日本消化器外科学会総会	直腸癌術後の縫合不全の予防対策と術後成績	山口
伊藤 慎吾	2024.7.17	第79回日本消化器外科学会総会	Nationwide Survey Of Appendectomy Before and During the COVID-19 Pandemic in Japan, retrospective cohort study within	山口
伊藤 慎吾	2024.7.31	Medical Nutrition Therapy Seminar	急性疾患由来短腸症候群患者の生命予後～急性期から在宅医療の視点より～	全国配信
石山 泰寛	2024.8.9	第11回Reduced Port Surgery Forum in Kanazawa	Da Vinci Xiによる単孔式ロボット支援下結腸切除術は可能なのか？	金沢
石山 泰寛	2024.8.9	第11回Reduced Port Surgery Forum in Kanazawa	ロボット手術時代における大腸癌に対するReduced Port Surgeryの重要性	金沢
渡部 和玄	2024.10.10	第60回日本胆道学会学術集会	急性胆嚢炎における内視鏡的胆嚢ステント術後の腹腔鏡下胆嚢摘出術症例の検討	愛知
小川 純平	2024.10.10	第60回日本胆道学会学術集会	胆管癌術後肝転移再発に対してGEM+CDPP療法後に肝切除を行った症例	愛知
綱木 学	2024.10.19	第42回肥満症治療学会学術集会	司会：よりサステナブルで効果的なスリーブ状胃切除術を目指して2	神奈川
成田 和広	2024.10.24	第62回日本癌治療学会学術集会	司会：大腸・小腸(集学的治療)	福岡
渡部 和玄	2024.10.31	第32回日本消化器関連学会週間 JDDW 2024	術後SSHに対するNPWT施行期間についての検討	兵庫
木村 美英	2024.11.9	第52回日本乳腺甲状腺超音波医学会	乳がんが疑われる病変の超音波診断による組織像推定	北海道
木村 美英	2024.11.9	第52回日本乳腺甲状腺超音波医学会	USによる乳房構成判定とGTC判定 乳房構成やGTCを改善することが乳房US技術向上につながる	北海道
木村 美英	2024.11.29	第34回日本乳癌検診学会学術総会	30,40歳未満乳癌の傾向から若年者への検診・啓発のあり方を考える	群馬
綱木 学	2024.12.5	第37回日本内視鏡外科学会総会	腹腔鏡下スリーブ状胃切除術170症例の術後合併症の検討	福岡
大倉 拓	2024.12.5	第37回日本内視鏡外科学会総会	S状結腸癌術後、結腸間膜に発生した結節性筋膜炎の1例	福岡
成田 和広	2024.12.5	第37回日本内視鏡外科学会総会	司会：ヘルニア 腹壁1	福岡
望月 一太郎	2024.12.5	第37回日本内視鏡外科学会総会	腹壁ヘルニアに対して施行したeTEPの当院における短期成績	福岡
【地方学会】				
発表者	期間	学会名	演題名	開催地
木村 美英	2024.10.6	第36回関東甲信越地方学術集会	イメージリーディング (乳腺)	東京
【講演】				
発表者	学会名	演題名		
木村 美英	日本超音波医学会「超音波診断講習会(乳腺)」	解剖に基づく走査法、用語解説		
木村 美英	東京都臨床検査技師会	『ドクター直伝! 所見の取り方、伝え方! -明日から役立つ乳房エコーのテクニック-』		
木村 美英	横浜乳癌画像診断勉強会 アストラゼネカ株式会社	症例検討		
木村 美英	第3回首都圏乳癌エラストグラフィユーザー会 富士フィルム	症例検討		
木村 美英	神奈川乳房超音波(医師)講習会(神奈川県医師会主催)	症例検討		
木村 美英	乳房超音波(医師・技師)講習会(日本乳がん検診精度管理中央機構・教育研究委員会主催)			
木村 美英	乳房超音波(医師・技師)講習会(日本乳がん検診精度管理中央機構・教育研究委員会)			
【論文・教科書執筆等】				
発表者	学会名	演題名		
綱木 学	Surgical Case Reports.	Laparoscopic sleeve gastrectomy as a bridge to colorectal cancer surgery for obese patients: a case report. Case report.		
木村 美英	乳房画像診断の助ドコロNEOp104-109	Bモードの操作方法		
木村 美英	乳房画像診断の助ドコロNEOp239-241	過誤腫		
木村 美英	乳房画像診断の助ドコロNEOp277-279	乳癌		
木村 美英	東京医歯学検査 Vol.52 No.2・3合併号p164-166	ドクター直伝!所見の取り方、伝え方! 明日から役立つ乳房エコーのテクニック		
木村 美英	Breast Cancer. 2024 Jul;31(4):671-683.	T.Inter- and intra-observer variability of qualitative visual breast-composition assessment in mammography among Japanese physicians: a first multi-institutional observer performance study in Japan.		
山元 崇輔	横浜医学(0372-7726)75巻4号 Page571-574(2024.12)	単孔式腹腔鏡手術を施行した子宮広間膜裂孔ヘルニアの1例		
福田 敏之	日本腹部救急医学会雑誌(1340-2242)44巻1号 Page75-78(2024.01)	単孔式腹腔鏡下手術を施行した魚骨による小腸穿孔の1例		
高田 世恋	JSGS Events Page2553	S状結腸憩室穿孔術後に人工肛門造設部を用いて単孔式腹腔鏡下人工肛門閉鎖術を施行した1例		
皆川 結明	JSGS Events Page1522	直腸癌術後の縫合不全の予防対策と術後成績		

# 手術実績 (2024年1~12月)

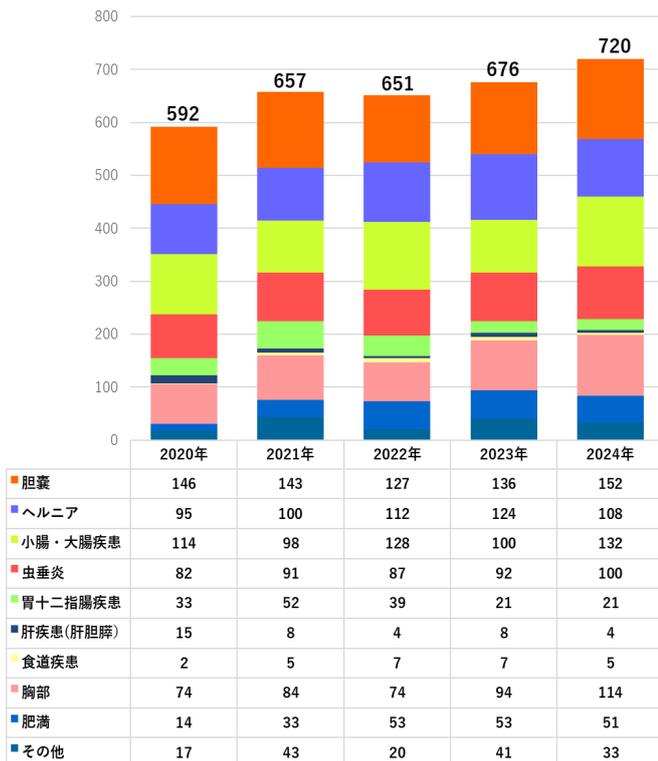
## 手術件数内訳(全1,207件) ※呼吸器外科手術を含む



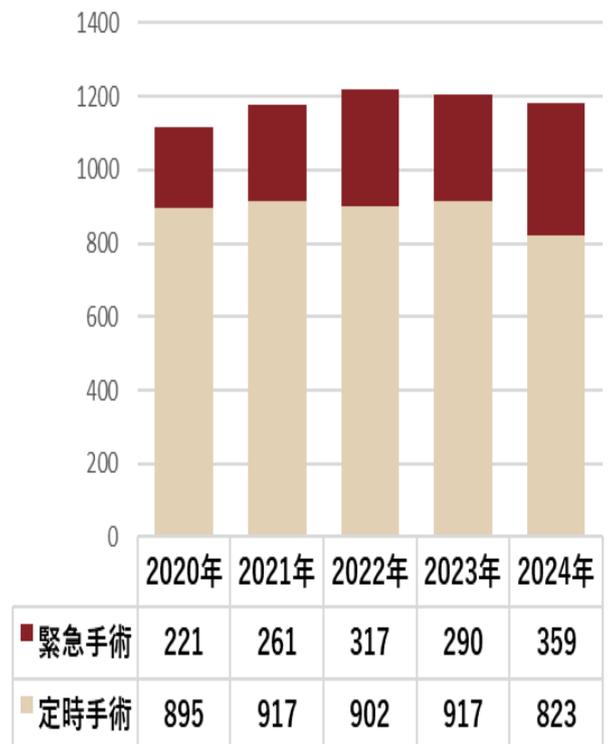
## 総手術件数と鏡視下手術 年次推移



## 鏡視下手術の内訳と年次推移



## 定時手術と緊急手術 年次推移



## シームレスな診療の提供 ～ 第二川崎幸クリニックとの連携～

外科では、外来施設である第二川崎幸クリニックとの連携を密にし、外来診療・診断から入院治療、そして退院後の療養まで、シームレスな診療を提供しています。

川崎幸病院では入院治療・集学的治療を、第二川崎幸クリニックでは外科外来診療、化学療法外来、日帰り手術はもちろん、がん相談外来、緩和ケア相談外来、がんサロン等の精神的、社会的サポートも行っています。



- ・入院治療
- ・がん集学的治療  
(手術・放射線治療・化学療法)



- 外科外来/化学療法外来/がん相談外来/  
化学療法インテーク外来/緩和ケア相談外来/  
漢方外来/リンパ浮腫外来/栄養外来/  
がんサロン など

シームレスな  
診療

### 第二川崎幸クリニック 外来予約センター

TEL 044-511-2112

午前診療/ 9:00～12:00 午後診療/14:00～16:30

夕方診療/17:30～予約診療終了まで

土曜診療/ 9:00～12:00

休診日/日曜・祝祭日



交通アクセス

<https://saiwaicl-2.jp/access/>

#### 外来診療

社会医療法人財団 石心会



川崎市幸区都町39-1

#### 入院・手術

社会医療法人財団 石心会



川崎市幸区大宮町31-27



緊急を要する患者様のご紹介は、

川崎幸病院 患者支援センター(044-544-4638)までご連絡ください。